

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立東浅川小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
所在地 〒 920-1145 金沢市浅川町イ 130 番地
E-mail higashiasakawa-e@kanazawa-city.ed.jp
Website http://www.kanazawa-city.ed.jp/higashiasakawa-e/
幼児児童生徒数 男子 19 名 女子 9 名 合計 28 名
幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「東浅川に生きる」を活動テーマとして、ESD を「地域と人・ものこと」との関わりと捉え、ESD の実践を通して「地域を知り、地域を大切にし、地域に生きる力の育成」を目標とした。

具体的には、兵四郎節、Asakawa 太鼓、ボランティアコンサートを柱に、①地域の文化の継承に係わる活動、②地域の自然に係わる学習、③地域の人と関わる学習、④地域の良さを知る学習に係わる学習を行った。

① 地域の文化の継承に係わる活動

毎年 5 月に行われる公民館との合同開催である「運動会」の場で、地域に伝わる「兵四郎節」を踊ることにしている。5 月の初めに、保存会の方に何度か学校に来ていただき、兵四郎節を教えていただいた。今年は、踊りだけでなく、歌も教えていただき、運動会の場で、保存会の方と共に代表 3 名が唄う兵四郎節に合わせて、地域の方と共に踊ることができた。秋には、音楽堂に於いて、歌と踊りを披露した。

② 地域の自然に関わる学習

今年度、「愛鳥モデル校」に認定されたこともあり、5年生の総合の時間には、東浅川の自然について調べる活動として、東浅川に生息する野鳥について調べる活動を行った。「東浅川は、野鳥が住みやすい場所か」、「どんな野鳥が生息しているのか」等、自分たちの疑問を元に調べ活動を行った。また、専門家として、野鳥の会から講師を招き、観察の仕方や生息する野鳥の特徴について学んだ後、実際に学校の近くに生息する野鳥の観察会を行った。その後、「ふるさと学習」として、調べた結果を模造紙にまとめ、ふるさと偉人館に出展した。

③ 地域の人と関わる学習

毎年、地域の障害者支援施設と老人施設との交流として、「ボランティアコンサート」を実施している。学年毎に、音楽の時間に学習した内容を中心に合唱や合奏を披露することになっている。また、施設の方と一緒に「ふるさと」を歌い、演奏終了後には、児童一人一人の手作りのプレゼントをすることになっている。今年は、折り紙で作ったひまわりをプレゼントして、交流を深めることができた。

④ 地域の良さを知る学習

湯涌街道は、ゆず街道としても知られるほど、地域としてゆずがたくさん収穫されている。学校の運動場や農園にもゆずの木が何本も植えられている。3年生は、総合の時間に於いて地域の良さとして、そのゆずについて調べ活動を行った。ゆずの木の手入れや収穫の仕方、ゆずを使った料理などについて調べ、収穫したゆずを使って調理実習を行うなど、地域の良さを知ることができた。



① 運動会で兵四郎節を披露



② 学校周辺の野鳥の観察



③ ボランティアコンサート



④ ゆずを使った調理実習

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

| | | | |
|--|--|---|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境 | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー | <input type="checkbox"/> 3. 防災 | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動 | <input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉 | <input type="checkbox"/> 10. 食育 | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費 | <input type="checkbox"/> 12. 貧困 |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) | |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等 | <input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(環境・自然) | | |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力 | <input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力 |
| <input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度 | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度 | |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入) | |

ウ. 活動時間（複数選択可）

| | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動 |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述) | |

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

| |
|--|
| |
|--|

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

・1、2年は生活科の中で、3年～6年は総合学習の中で、ユネスコスクールとしてのテーマ「東浅川に生きる」を基に各学年のテーマを設定し、活動計画を立て実践してきた。1、2年は「人とのつながり」を中心に、3、4年は「地域の伝統や文化」を中心に、5年は「自然」、6年は「福祉」を中心に、指導内容を吟味し、指導するようにしてきた。地域の自然や施設・人とどのようにつながるかを工夫し、指導方法を改善するように努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

・全職員で、学校のテーマの確認と各学年におけるカリキュラムの見直しや改善を年度末及び年度初めに行い、共通理解を行うようにしている。
・今年度指定を受けた「愛鳥モデル校」の取組は、次年度につながる活動として、今年度の活動をさらに進める形で受け継ぐように引き継ぎを行った。(例 今年度は、6年生が卒業作品として巣箱を作成したので、来年度は、巣箱を設置し、野鳥の観察を行う等 活動が、継続して行える工夫をする)

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

・文化祭で、各学年の活動内容や結果についてワークショップ形式で発表会を行い、他学年や地域の方に感想や意見を書いてもらう機会を設けた。
他学年が何を学んだのかを知ることで、今後の活動に生かすことができた。地域の方に発表することで、コミュニケーション能力を高めることにつながった。
・関係者評価委員会に於いて、保護者や地域の方から意見をもとめ、評価していただくことで、活動のあり方や今後の活動の改善に生かすことができた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

・5年・・・「ふるさと学習」として野鳥について調べた内容やその結果について模造紙にまとめ、ふるさと偉人館に展示することで、多くの方に発信することができた。たくさんの方に見てもらうことを意識して、まとめをすることで、どのような内容をどのようにまとめるかを意識し、分かりやすい物に仕上げようと工夫することが表現直を高めることにつながった。
・6年・・・「金沢ユネスコこどもサミット」において、金沢市の小学校が一堂に会し、お互いの活動を発表し合う機会がある。今年度は、大雪のため、開催できず、各校のまとめた模造紙を展示する形になってしまったが、昨年は、自校の取組を発表する場面と他校の発表を聞く場面があり、金沢市内の小学校でどのような取組がされているかを知る良い機会となっている。他校の児童に発表すること・他校の発表を聞くことで、表現力やコミュニケーション能力に育成に役立った。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

・地域の保育園や高校・大学、施設との交流を行っている。

保育園・・・年長さんを迎える会、学校体験 等

高校・・・校内に高校生の美術作品を展示（年2回、作品を変更）

大学・・・土曜授業における留学生との国際交流活動

施設・・・障害者支援施設、老人施設との交流活動（コンサート）

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

・複式で少人数の学校であるため、なかなか国内外のユネスコスクールとの交流まではできない現状にある。ネットワークづくりに関しても同様に、校内での活動及び地域との交流、連携に努めることで精一杯といえる。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

・地域の大学から留学生を招いて、交流活動を行うことで、日本以外の国に対する興味関心が深まった。また、日本の文化を知ってもらうための活動では、自分から積極的に関わろうとするコミュニケーション能力を高めることの一助となった。

・地域の方との活動（ボランティアコンサートや兵四郎節・Asakawa 太鼓）においては、地域を大切に、地域の方との関係を深めることに役立っている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

・1年・・・生き物と仲よし（自然）、人と仲よし（地域の人・保育園・留学生等）昔遊び

・2年・・・町探検（地域を知る）、野菜の栽培（自然）

・3年・・・ゆずを学ぶ（地域の良さを学ぶ）伝統行事を学ぶ

・4年・・・板屋兵四郎、兵四郎節、銚子太鼓（地域の偉人・文化）

・5年・・・金沢の食文化、東浅川の自然（野鳥の観察）

・6年・・・お年寄りが暮らせる町（福祉）金沢の町を学ぶ